

【第5回開催レポート_さつま町観光未来研究室】

開催日時：2018年10月30日（火）14:00～17:00

場所：さつま町役場 別館3階 大会議室

出席者数：24名+講師の須部貴之氏（すべ産業／騎射場のきさき市代表）
+講師の酒井佑輔氏（鹿児島大学）+学生5名

内容：

1) 導入

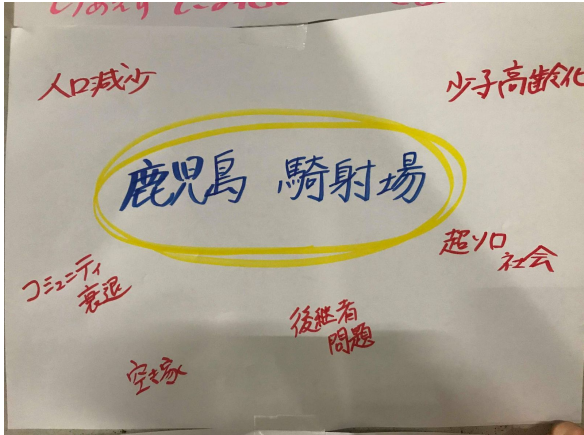
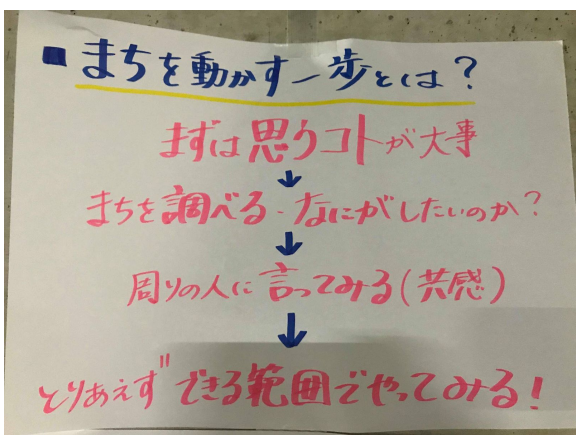
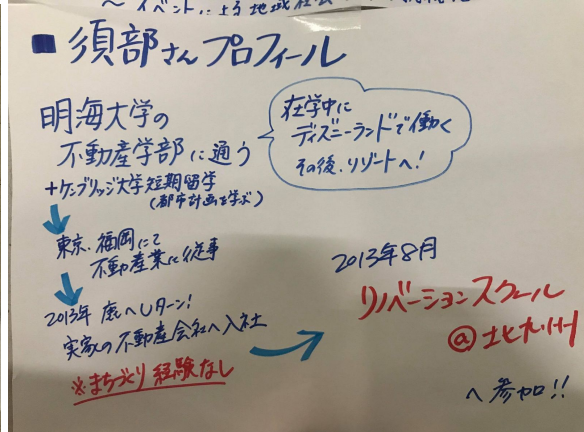
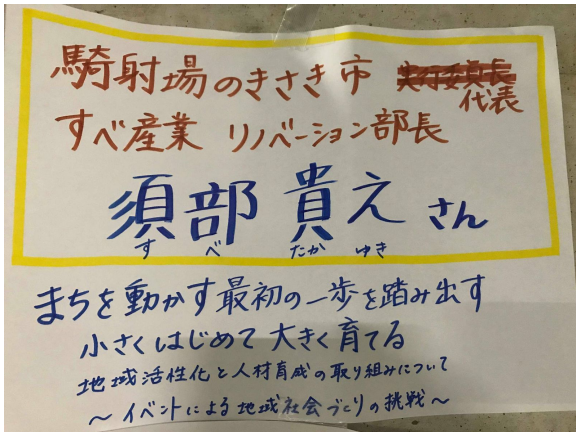
- 前回の振り返り
- 皆さんへのお願いを共有
- ①積極参加でお願いします（反応3割増し） ②前向き参加（やわらか発言）
- ③リラックス参加（ストレスフリー）
- アイスブレイク
場と身体と緊張などをほぐしていくために、簡単なゲームを行う
- 今日の目的の共有
- ①前回の振り返りとビジョン共有 ②最初の一步を踏み出すヒントに触れる
- ③取り組むテーマを考える ④チームを作る

2) 前回の振り返りとビジョンの共有

ビジョンワードの提案「癒しの光に触れるまち」

※多くの方にある程度は賛同いただきました

3) 講師 すべ産業 リノベーション部長／騎射場のきさき市代表 須部貴之氏よりお話 (=今日の目的②最初の一步を踏み出すヒントに触れる)



2035年 超ソコ社会

家族コミュニティから **お祭り様** の世界

個人コミュニティへ。

高齢化 65歳以上 4割

この社会で、
コミュニティがどう成り立つか

大学生と地域、
どうしたらつながる?

学部 学部 学部 学部

地域課題

地域課題 x 学部 → 次の時代を
つくるのは??

2015年11月~ 騎射場のまきま市

1万人規模のイベント

まちの隙間
活用!!

まち歩きと人おぎの装置
(社会実験)

100店舗以上が
出店する大規模
マーケット!

京都五条
のまきま市が
元祖。

地域住民を巻き込む
= エリアをつなぐ

地域住民 市役所(行政) 不動産
オーナー

騎射場 中央通り会 ティート店舗 飲食店

大学・小学校・中学校

目標を設定する

短期	中期	長期
<ul style="list-style-type: none"> 人と人をつなげる (騎射場、鹿児島市、県外) 騎射場を知ってもらう 5回ほど 土台をつくる(2年) 	<ul style="list-style-type: none"> エリアの人たちと エリアをおおす。 のまきま市 人材サカシ この間に たいやんを築ける!! 	<ul style="list-style-type: none"> 騎射場の 雇用創出 学生の2年間の受け皿 になる 企業の商品開発 ための連携 産学連携エリア(大学) 公園(公共空間)の活用

大切にしたいメディア発信

ただ集客げん! 発信した! itはたか... 地域に知ってもらうこと が大切

ただのイベントではたか、継続おなら

くり返しではたか、積の重ねを 大切にする。

まちのなかの役割分担を決める

騎射場

- 総務・会計 中央通り会
- 営業・広報・拡大 のまきま市!
- 企画 地域の人
- 研究・検証 鹿児島大学 研究室

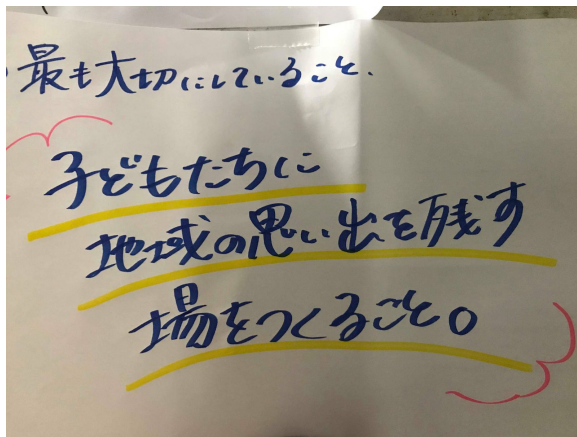
組織の 成り立ちモデル

① 関係の質 {カレッジ(大学) ガイアログ(対話) 会宿(共通体験) 家族からの参加}

② 思考の質 {カレッジ リーダーシップ研修 課外授業 LINE指導}

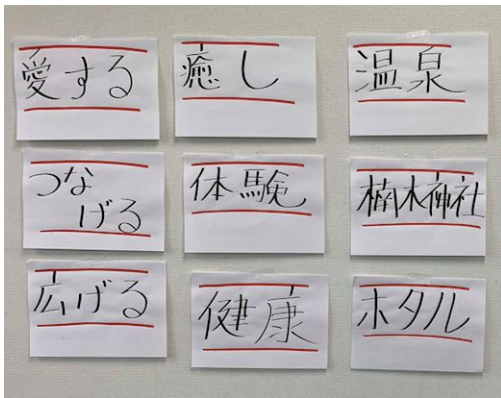
③ 行動の質 {お祭り・お祭り 委員会活動 振り廻り(反省会)}

④ 結果の質



4) キーワードを具体化する「私のテーマ」 (=今日の目的 ③取り組むテーマを考える)

①キーワードを選ぶ



上記から自分が取り組みたいキーワードを1つ選ぶ。

*2つ以上選ぶことも可。また、前回の最後に全体から出たキーワードから選ぶのも可。

②壁をつかむ

理想のさつま町を実現するために乗り越えなければならない具体的な課題を、参加者全体から出た課題一覧から選ぶ。

③ゴールを描く

1,2年後に目指す自分の中での理想の状況を書き出す。

④取り組みたいこと

自分の中での理想の状況に近づくために、この冬に自分自身が取り組みたいアイデアを1個以上書き出す。

以上①~④をA4サイズ1枚のワークシートに個人で書き出す。

5) 全体で取り組むテーマを決める (=今日の目的 ④チームを作る)

⑤全体で投票する

「どうしてもこれはやりたい」「誰かから共感してもらえたらやりたい」参加者はシートを会場前方のテーブルに置く。1人あたりシールを3枚持ち、テーブルに出されたシートの中で共感したものや、やってみたいことにシールを貼る。

⑥全体で取り組むテーマを決める

投票数上位6つを今回、全体で取り組むテーマとする。

*下麦さん、上さんの企画は課題やキーワードが似ていたのので一つにまとめました。

⑦チームを作る

参加者は全体で5つのテーマの内、自分が関わりたいテーマを1つ選び、チームを作る。

⑧グループワーク

起案者の話も聞き、なぜこのテーマを選んだのかを全員で共有。

全体としての今後の進め方を共有した上で、次いつ集まるかなどのお話をする。

* 今回の欠席者については、下麦さんから連絡を取り、シートを見せた上でどのチームに入るかを検討し、チームに合流してもらう。

<チーム分け-①>



みんなが集まる場所作り(まだ詳細検討中!!)

さつま町観光未来研究室 企画づくりについて

お名前: 下斐 大志

⑥

【私が目指す理想のさつま町のキーワード】

つながる (癒し+体験+温泉+ホテル...) × 広げる

【そのために乗り越えたいさつま町の具体的な困りごと...課題から選ぶ】

場づくり 連携・協働ができていない、つながり人がいる
他人事になっている。

【1~2年後に目指す理想の状況...自分が作りたい理想の状況を描く】

観光特産品協会 (事務局) ← 宮之城鉄道記念館
民間から人材を募集
プロジェクトマネージャー

【私がこの冬に取り組んでみたい最初の一步のアイデア...1つ以上の取り組みアイデアを描く】

町観光特産品協会の仕組みを考える!!
ここが変わるとうろろ動く!!

<チーム分け-②>



272

さつま町観光未来研究室 企画づくりについて

お名前: 古田昌也

【私が目指す理想のさつま町のキーワード】

生まれる!!

【そのために乗り越えたいさつま町の具体的な困りごと…課題から選ぶ】

物かたにないものを 選べない!

【1~2年後に目指す理想の状況…自分が作りたい理想の状況を描く】

さつま町と名前がついた 食の町、商品の 住める町。
また、おしに かいまきた、歴史を学ん、体験出来る場所

【私がこの冬に取り組んでみたい最初の一步のアイデア…1つ以上の取り組みアイデアを描く】

他では、体験出来ない 朝まで 朝まで 食の 朝食会と! (ホテル船利用)
おしは、しほしでの 星夜の カラオケ 夜。

<チーム分け-③>



さつま町観光未来研究室 企画づくりについて

お名前: 北野 奈緒 (13)

【私が目指す理想のさつま町のキーワード】

つなげる

【そのために乗り越えたいさつま町の具体的な困りごと…課題から選ぶ】

外国ともターゲットとして受け入れられない問題
海外からの観光を考える意識が低い。

【1~2年後に目指す理想の状況…自分が作りたい理想の状況を描く】

地域に住む外国人が住みやすい町をもつことが、受け入れられる環境。 マップやサイン等。
さつま町の商品を海外で販売
もらう。(ブライディング) (海外からの観光客も)

【私がこの冬に取り組んでみたい最初の一步のアイデア…1つ以上の取り組みアイデアを描く】

仕事での海外バイヤーの意見がわかりやすいのが全ての英語化。
メニューも英語にしてほしい等。 写真とされる場所のサインなど英語化の手伝い。
SNS等でさつま町を海外に発信する数値の#を作る。
英語で「さつま町」のブライディングロゴ作り等もして欲しい。
等々

<チーム分け-④>



さつま町観光未来研究室 企画づくりについて

お名前: 外間 美保

【私が目指す理想のさつま町のキーワード】

広げる (発信力)

【そのために乗り越えたいさつま町の具体的な困りごと…課題から選ぶ】

バラバラ. 自分ばかり. 検索しても出てこない. イメージの統一性. 世界感
どこも見ていいか 分からない.

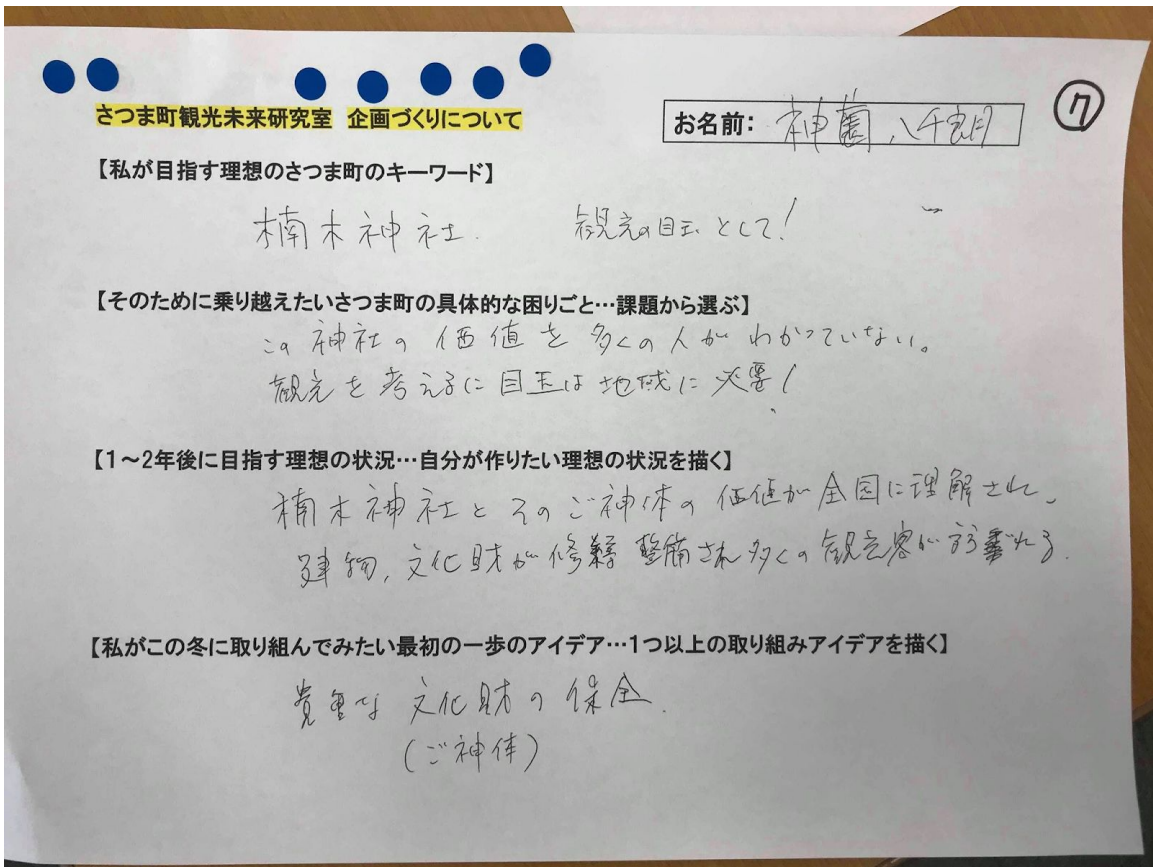
【1~2年後に目指す理想の状況…自分が作りたい理想の状況を描く】

これを見れば さつま町が分かる.
情報発信がきちんと行き渡る. → 行動してみたいと思わせる発信力をつける.

【私がこの冬に取り組んでみたい最初の一步のアイデア…1つ以上の取り組みアイデアを描く】

チームを作る. 春(桜の頃)に向けてイベントの準備

<チーム分け-⑤>



以上